

<b>会 議 録</b>	
会議名	平成27年度第4回三郷市在宅医療・介護連携推進協議会
日 時	平成28年2月18日(木) 13時30分～15時00分
会 場	旧保健センター 第1会議室
参加者	<p>【会 長】谷口 聡</p> <p>【副会長】秋葉 明</p> <p>【委 員】石井 久美子、加藤 久満、小林 真人、佐藤 厚志、          宍戸 六郎、白井 健志、高木 まち子、外館 伸也、          星野 巳佐子、茂木 聡美、森田 祥之、矢口 賢治、          山崎 光一、横堀 公隆</p> <p>【事務局】稲俣 克巳(ふくし総合支援課ふくし総合相談室長)、守屋          希伊子(地域包括係係長)元井 隆幸(同 主任社会福祉主事)、          浅香 雅子(同 主事)、北川 直子(同 相談員)、原山 千          恵(健康推進課課長補佐)、前川 浩司(長寿いきがい課課長補          佐)</p> <p>【傍聴人】5名</p>
内容	<p>1. 開会</p> <p>2. 議題</p> <p>(1) 平成28年度以降の協議会、検討部会の組織及び役割について <span style="float: right;">【資料1】</span></p> <p>(2) 検討部会委員の選定について <span style="float: right;">【資料2】</span></p> <p>(3) 平成28年度年間予定について <span style="float: right;">【資料3】</span></p> <p>3. 連絡事項等</p> <p>・平成28年度協議会委員受託意向調査の実施</p> <p>4. 閉会</p>
決定事項	<p>2.(1)について 了承</p> <p>(2)について 現在調整中</p> <p>(3)について 了承</p>

平成 27 年度第 4 回三郷市在宅医療・介護連携推進協議会	
1. 開会	
事務局	資料確認。
谷口会長	第 4 回の会議となり、だいぶ顔も見慣れた感じになってきた。毎回活発な議論が交わされ、長時間の会議になるが、本日も活発な意見交換をしていただき、より良い会にしたい。 では、本日の会議も次第に沿って進行していく。
2. 議題 (1) 平成 28 年度以降の協議会、検討部会の組織及び役割について	
事務局	<p>【資料 1】のとおり。</p> <p>平成 28 年以降の協議会と検討部会だが、これまで第 2 回・第 3 回の協議会で協議していただいたものをまとめたものとして、こちらのイメージ図のような仕組みでやっていきたい。</p> <p>「基本的な流れ」として、協議会は今まで通りだが、検討部会は、課題の抽出、課題の解決策を検討、解決策の検討結果を協議会に報告し、北部と南部の課題を協議会に集約したうえで改めて検討、協議会で話した内容を北部と南部の検討部会に下ろして共有、さらなる課題が出てきたら、「 」に戻る、という循環で取り組んでいきたい。</p> <p>協議会の役割として、在宅医療・介護連携推進事業の具体的取組の(ア)から(ク)の課題の解決に取り組んでいただきたい。検討部会から提案された案件を協議会で改めて検討し、協議会で出た提案を検討部会に情報共有してもらえたらと思う。また、検討部会で必要な参考人の招致に協力をお願いしたい。そして、協議会と協議会の合間に他職種連携に有益な情報を収集し、分析や共有をしていただきたい。</p> <p>検討部会の役割として、普段は北部と南部のそれぞれの地域の課題を抽出していただき、検討部会の協議では結論を出すのが難しいときや、市全体が関わる課題は、協議会に上げていただきたい。</p> <p>協議会と検討部会の内容は、前回の会議までに決めた通り。市事務局は、参考人の依頼や、調査を行う際などに協力したい。検討部会の会議を行う場所として、市で管理する会議室などの提供を行う。また、必要に応じて事務局が検討部会へ出席させていただきたいと考えている。</p>
谷口会長	【資料 1】では、どのような組織で課題に取り組んでいくかが事務局から示されたが、意見はあるか。(全員意見無し) これに関しての意見はないようなので、次の議題に移る。

2.(2) 検討部会委員の選定について	
事務局	<p>【資料 2】について、前回の協議の中でお願いしていた検討部会の委員の選出だが、各所属団体に検討部会の委員選出を依頼し、【資料 2】に記載しているかたが委員として出席いただけると連絡を受けた。まだ連絡をいただいていないところがあるが、北部と南部、それぞれ 13 名ずつで構成されるかたちになる。検討部会長・副会長は記載のとおりで、書記については地域包括支援センターの職員が輪番で書記をしていただき、議事録の作成をお願いしたい。地域包括支援センターひこなり北と地域包括支援センターしんわは、設立が 4 月になるので、検討部会の委員としては平成 28 年度からということになる。</p> <p>協議をお願いしたいところについてだが、ヘルパーの事業所だが、1 か所に定まっていないということで、【参考資料 3】の北部の事業所の中からどこの事業所が良いか意見をいただきたい。</p> <p>また、通所の事業所は、南部は純誠会が候補に挙がったが、【参考資料 3】のヘルパー事業所一覧の中から検討いただきたい。</p>
谷口会長	<p>空欄のある職種について検討する必要があるので、1 つずつ確認しようと思う。</p> <p>医師会は、北部は私、南部は訪問診療を行っている内科医が少ないが、その中でも訪問診療を手広く行っている、A クリニックにお願いしようと思う。</p>
穴戸委員	歯科医師会は、B 歯科医院にお願いする。
小林委員	薬剤師会は、候補は決まっているが絞り切れていない。
谷口会長	調整をお願いする。訪問看護ステーションはどうか。
石井委員	南部には 2 つの訪問看護ステーションがあり、1 つは C 訪問看護ステーション、もう 1 つは D 訪問看護ステーション。前回の会議で C 訪問看護ステーションはどうかという話になったが、事務局から意見はあるか。
事務局	C 訪問看護ステーションの責任者の看護師だが、現在、市で取り組んでいる認知症の総合事業のほうでも依頼しており、その看護師自体が色々な役割を持っていて多忙であるため、C 訪問看護ステーションではなく別の事業所からお願いしたいと思う。
谷口会長	認知症の総合施策のチームの一員で役割があり、予定がつきづらいという状況のようである。
穴戸委員	C 訪問看護ステーションの中の他の看護師ではどうか。
谷口会長	各事業所の代表に集まっていたかくので責任者が良い。
石井委員	もう 1 つとなると、南部は D 訪問看護ステーションしかない。

谷口会長	南部の事業所はD訪問看護ステーションにお願いするしかない。
森田委員	理学療法士は、前回の資料で、訪問リハビリなどの自宅訪問を行っているところから、というふうに条件を絞っていくと、北部で訪問リハビリを行っている事業所が限られてくる。多くの事業所が訪問看護の事業所から療法士が出ているかたちが多く、訪問リハビリで出ている事業所が少なく、ある程度の規模のところはE事業所しかいないため、打診している。
谷口会長	それをお願いする。 医療相談員は、北部がF病院の医療相談員、南部が三郷中央総合病院の白井委員ということになる。接骨師会はどうか。
山崎委員	G整骨院に依頼している。
秋葉副会長	介護支援専門員は、協議会で話し合い、北部にも多く介護支援専門員はいるが、北部には高齢者が多く住んでいるみさと団地があること、色々な実績や経験もあり、問題意識なども持っている、H事業所の介護支援専門員に依頼した。
谷口会長	次は訪問介護の事業所だが、南部はしいの木の郷の高木委員で、北部は【参考資料3】の中から検討いただきたい。
高木委員	訪問介護事業所は横のつながりが無く、私としては実情が分からない。
穴戸委員	例えばH事業所のように、介護支援専門員で入って、訪問介護でも入って、というように兼ねてしまうのは良くないのではないかと。なるべく重複は避けた方が良い。
星野委員	訪問介護の事業所は色々つきあっていて、I事業所やJ事業所などは、北部でも長年地域でやっていて歴史が長い。I事業所だと障害者施策でのヘルパー事業所もやっていて、経験も豊富である。
事務局	では、I事業所かJ事業所をお願いしようと思うが、どちらの事業所に依頼するか。
谷口会長	I事業所に依頼をして、無理そうならJ事業所をお願いするのはどうか。
全員	賛成。
谷口会長	では、北部の訪問介護事業所はそのようなかたちで依頼したいと思う。通所介護事業所は、北部は藤光苑の外館委員だが、南部が決まっていないので、【参考資料3】から検討いただきたい。 外館委員も、事業所同士の横のつながりはあまり無いのか。
外館委員	高木委員と同様、横のつながりは無い。
秋葉副会長	K事業所は最近開設したばかりで市の状況がわからないと思う。利用者に人気がある事業所は、L事業所など。M事業所も長くやっている

	のではないか。色々なかたを受けてくれている。
穴戸委員	M事業所の職員は、講習会等にもよく出席されている。
横堀委員	N事業所はいかがか。
茂木委員	法人が社会福祉協議会なので、地域包括支援センターみずぬまと同一法人なので、あまり良くないと思う。
谷口会長	名前があがったのは、M事業所やL事業所があるが、こちらのほうも、M事業所にあたってみて、無理そうならL事業所にあたってもらうようにしてはどうか。
全員	賛成。
谷口会長	あとはそれぞれの地域包括支援センターから代表のかたに出席をお願いしたい。 平成28年度からの地域包括支援センターの名称についてだが、地域包括支援センターしんわは分かると思うが、地域包括支援センターひこなり北のほうには話はしてもらっているのか。
事務局	この協議会で話はしていないが、本日も傍聴に来ていただいている。地域包括支援センターしいの木の郷が、3月末で受託が終了となる。その関係で、地域包括支援センターの新しい法人に三郷ケアセンターが委託してくれることとなったため、現行と同じ場所で名称を「ひこなり北」に変更してやっていっていただくこととなった。担当地区割表については、【参考資料1】で新旧の比較ができる。
谷口会長	まだ代表が決まっていない職種は、決まり次第事務局に報告をお願いする。次の議題に移る。
2.(3)平成28年度年間予定について	
事務局	【資料3】を参照。平成28年度の年間予定表案のとおり会議を行いたいと思っている。 協議会については、今まで2ヵ月おきに集まっていたが、平成28年度以降は検討部会も発足し、そちらをメインで行っていくので協議会のほうは回数を減らし、年間3回程の開催としていこうと思っている。 検討部会については、色つきの期間の説明をすると、備考に書かれているように、協議会の合間に検討部会を開催し、内容を協議会に報告をしていただきたいと考えている。例えば、6月～8月に色をつけているが、こちらについては毎月の開催ではなく、検討部会長や他の委員のかたがたの希望で何回開催するということを自由に決めていただきたいと考えている。

	<p>専門職向け研修というところは、医療と介護のそれぞれの専門職が集まっていたら、多職種の連携をテーマにした課題をグループワークにて取り組んでいただき、解決策を探りつつ交流を深めていただきたい。そして医療と介護の相互の理解を深めていただければと思う。そのために、外部講師を呼ぶことも考えている。</p> <p>市民向け講演会も、外部から講師を呼んで他職種が連携するような内容の講演会を行いたいと考えている。例えば、市民に身近な問題である在宅での看取りをテーマにするなどして、在宅医療と介護の問題についての理解を促進するという講演会を考えている。</p>
谷口会長	意見や提案はあるか。
穴戸委員	専門職向け研修は、医師会が開催しているような講演会とリンクして行ってみたいと思う。
谷口会長	<p>医師会が開催しているような講演会よりももう少し具体的な内容のものを想定している。年に2回できるかわからないが、各職種から何人かずつ集まってもらい、グループごとにディスカッションをして話し合うとか、実際に地図を見てどのように在宅のチームを作ったら良いかなど、実践的なものを想定している。</p> <p>今までやってきた講演会は、市民向け講演会に近いイメージである。</p>
秋葉副会長	職種については、例えば通所介護の事業所の相談員や、看護師や、病院の相談員なども参加できるのか。
谷口会長	そうである。部屋の大きさにより定員もあるが、できるだけ多くの人に参加していただけるように、10チームくらいできればと思っている。
穴戸委員	地域包括支援センターも6つとなるため、最低6チームは作れるようにしてほしい。
谷口会長	<p>千葉県柏市の在宅医療・介護連携推進事業で音頭をとった、東京大学の医師たちが、研修会を開いている。ホームページにも載っているので、是非ご覧いただきたい。内容が濃いので年2回の開催ができるかわからないが。</p> <p>訪問看護ステーションなど、研修会等に参加したことがあるか。</p>
石井委員	無い。
谷口会長	委員の中で、こういった専門職の研修等に参加したことがあるかたはいるか。
全委員	無い。
谷口会長	なかなかそういった経験がある委員がいないということのようなので、自分たちだけでやっていくのは難しいと思う。外部の専門的な先

	<p>生を呼んで助言をいただきながら流れを作っていきたいので、そちらに関しては事務局と話し合っ進めていきたいと思う。</p> <p>市民向け講演会については、年1回とあるが、できれば10月頃にやりたいと考えている。大人数が入れる会場で、医師会が開催している講演会のようなものを想定しているが、もっと外部の人に入ってもらえるようなものを考えている。テーマに関しては、市民向けなので、基本的な内容でお話いただけるような人がいいと思う。講師に関しては、どちらかという医師会で呼ぶような講師ではなく、もう少し違った職種の人が選んだ講師のほうが良いのではないかなと思う。例えば、介護支援専門員や、地域包括支援センターのほうで有名なかたなど、選んでいただければと思う。外部講師を呼ぶのも10月の講演会だと、6月、7月頃にはアプローチしなければならない。</p> <p>この人の話が聴きたい等あれば、今提案していただけるか。</p>
宍戸委員	テーマは看取りに関してか。
事務局	例としてあげたが、多職種連携が重要となる課題とその解決というテーマで講師にお話いただきたいと考えている。その中で看取りというのが市民にとって最も身近な問題なのではないかと思い、提案した。
宍戸委員	在宅看取りは、介護支援専門員が重要な位置付けとなる議題だと思う。次回5月に協議会が開催するとき案を出し合ってもらってはどうか。
谷口会長	<p>漠然と、やり方がわからなければ、在宅看取りというテーマに焦点を絞って、各分野から選んできてもらってもかまわないし、この人は違う話だけど聴きたいという人がいたら是非推薦していただきたい。次回の協議会までに検討していただき、案があれば事務局に連絡をしてほしい。</p> <p>それでは予定の審議内容は終了する。</p>
宍戸委員	前回審議したICTについては、あれで終わったのか。
事務局	ICTについては、前回、委員全員から意見をいただき、基本的には賛成という意見が多かったが、一部細かいところに関しての調整が必要で、そちらについては平成28年度中に協議会のほうでICTを導入するか等の方向性を検討していきたい。
谷口会長	もしかすると検討部会等の小さい単位で話したほうが進むかもしれない。
事務局	検討部会の中でも実際に協議会の委員でないかたもいるので、提案等があれば検討部会の議題として取り上げていただきたい。
宍戸委員	ICTについては、三郷市全体で考えていかなければならない。
谷口会長	なかなか決まらない。介護支援専門員のアンケートでも、色々な意見

	があったので、難しいテーマだと思っている。
事務局	県のほうでも、入れるシステムを広域化して共通したものをいれたほうがいいという話が出ているようなので、また情報が入り次第随時お知らせさせていただきたい。
3 . 連絡事項	平成 28 年度協議会委員受託意向調査の実施
事務局	連絡事項だが、協議会については任期は定めていないが、所属の団体の中で委員の変更があったり、それぞれ事情があるかもしれないため、年に 1 回意向の確認をさせていただきたい。来年度の受託の有無を記入し、2 月 29 日までに事務局に提出をお願いしたい。
秋葉副会長	以上をもって第 4 回三郷市在宅医療・介護連携推進協議会を終了とする。